※令和４年度以降入学生用

学校番号	204

令和８年度　芸術科

教科	芸　術	科目	工芸Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	日本文教出版　「工芸Ⅰ」						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人間国宝等の映像を見て、作品の制作工程を理解し、“物を創る”とは何かを感じ取る。
・日本固有の素材を使用して、先人の巧みを理解し、作る作品に合わせて道具を自ら作る工程を学ぶ。
・「やってみて、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かず」の言葉を授業で行い、すべての工程を生徒の前で実際に行うことにより、工程の理解につなげる。
・義務教育で学んだ“物を創る楽しさ”を発展させ、高校では“物を創るしんどさ”の向こうに大きな感動と達成感があることを伝える。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・単元の設定した作品を完成させる。
【思考力、判断力、表現力等】
・単元目標の完成に向け、自己表現の方法を模索し答えを導く能力を養う。また、積み上げ学習を学びながら創造と伝統を理解する。
【学びに向かう力、人間性等】
・ワークシートの助言から、いま・何を・どうした方がいいのかを判断する能力を身につける。
・「自己発見」と「自己確認」をくり返しながら自分とは何かを考えられる人格を形成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・各学期設定の技法の習得している。 ・技法の歴史や種類の習得している。 ・設定技術が作品に生かされているか。 ・対象や事象を捉える造形的な視点に立って工芸作品の理解を深める。 ・道具の正しい使い方を理解している。 ・正しい道具を選択できる能力を身につけている。	・材料の特性を考える。 ・作る作品の立体認識している。 ・それを実行するための三面図が制作できる。 ・実用の美の追求とオリジナルな装飾の融合を理解している。 ・実用性、造形性に関しての創意工夫ができる。 ・加工工程・装飾工程・研磨工程等における道具が選択できる。 ・必要な道具を自作できる。 ・工芸の歴史と工芸作品のつながりや関連を深め、文化を理解する。 ・造形的な良さや表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて理解を深める。	・計画的に作品を創り上げる態度を身につけている。 ・毎時間の予定の確認とコツコツ積み上げる能力を身につけている。 ・工芸の幅広い創作活動に取り組む姿勢を身につけている。 ・他の生徒の権利を妨害することなく、自己中心的な行動を慎む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	金工	「オーバーレイ」技法による指輪制作	a: ・「オーバーレイ」技法を理解している。 ・「オーバーレイ」技法の歴史を理解している。 ・ネイティブアメリカンの歴史を理解している。 ・道具の正しい選択を身につけている。 ・道具の正しい使用法を身につけている。 ・ロウ付け技法の理解と実践を理解している。 ・作品制作上の工程を理解している。 b: ・テーマや主題から豊かな発想をすることができる。 ・発想や構想の手掛かりとなるスケッチをしている。 ・作品の実用性を考えている。 ・作品における豊かな自己表現が確認できる。 ・立体造形の空間把握をすることができる。 c: ・各工程に関してコツコツ積み上げようとしている。 ・工芸と生活の関わりに関して再確認しようとしている。 ・自分の権利と他人の権利を考えようとしている。	・小テスト ・定期考査 ・作品 ・ワークシート	・ワークシート ・作品	・ワークシート作成

※令和４年度以降入学生用

２学期	ミクストメディア	「鹿角根付」& ストラップ	a: ・鹿角の特性とワシントン条約について理解している。 ・鹿角等の古来よりの素材の使用法や歴史の理解している。 ・使用する道具の特性を理解している。 ・組紐の歴史・種類を理解している。 ・組紐はなぜほどけないかを理解している。 ・道具の正しい使用法を身につけている。 ・道具の正しい選択法を理解している。 ・鋼の特性と鉄の性質の違いを理解している。 ・鉄の四つの熱処理の理解している。 ・作品制作工程を理解している。 b: ・作品を社会の中で実用することができている。 ・作品における自己表現ができている。 ・異素材の組み合わせの中で独自の表現を確立している。 ・立体造形の空間把握をすることができる。 c: ・作品の全体像の把握しようとしている。 ・工芸と生活の関りに関して再確認しようとしている。 ・コツコツと作品を積み上げようとしている。 ・自分の権利と他人の権利を考えようとしている。	・小テスト ・定期考査 ・ワークシート ・作品	・ワークシート ・作品	・ワークシート ・作品

※令和４年度以降入学生用

3学期	木工	水目桜によるカトラリー制作	a: 木材の基本的な性質を理解している。 ・順目と逆目の違いを理解している。 ・使用する木工道具の種類と歴史を理解している。 ・道具の正しい使用法を身につけている。 ・道具の正しい選択を理解している。 ・ユニバーサルデザインについて理解している。 ・作品制作工程を理解している。 b: ・作品を社会の中で実用しようとしている。 ・立体造形の空間把握をしようとしている。 ・オリジナルな装飾表現をしようとしている。 c: ・作品の全体像を把握しようとしている。 ・生活と工芸の関係を再確認しようとしている。 ・コツコツと作品を積み上げようとしている。 ・自分の権利と他人の権利を考えようとしている。	・小テスト ・定期考査 ・ワークシート ・作品	・ワークシート ・作品	・ワークシート ・作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度